



関西3空港一体で環境負荷低減に向けた取り組みを推進しています ～KIX,ITAMI,KOBEにおける環境5カ年計画を策定しました～

関西エアポートグループは、関西3空港（関西国際空港、大阪国際空港、神戸空港）において、環境への負荷を低減するために様々な活動に取り組んでいます。

このたび、その活動をより一層促進していくため、2018年度から2022年度までの環境5カ年計画を新たに策定いたしました。

本環境計画では、環境負荷低減に向けて以下の4つの柱を設定しており、それぞれの柱のもとに私たちの今後の取り組みの指標となる具体的な目標と施策を定めています。

- ・ 気候変動への対応
- ・ 資源循環
- ・ 周辺環境との共生
- ・ 環境マネジメント

関西エアポートグループは、地域および地球規模での環境問題について大きな責任を担っていると考えており、今後も環境負荷低減に向けた取り組みを推進し、周辺環境と共生した空港の発展をめざしてまいります。

また、6月は環境省が定める「環境月間」です。この期間中に、新しい環境計画のもと、関西3空港において様々な環境イベントを実施してまいります。

【参考】[関西エアポートグループの環境への取り組み](#)

・「世界環境デー」デジタルスタンプラリー：6月5日（火）～11日（月）

本日6月5日の「世界環境デー」に VINCI Airports グループ合同で環境イベントを実施することにあわせ、関西エアポートグループが運営する関西3空港においても環境への取り組みを紹介するデジタルスタンプラリーを実施いたします。

デジタルスタンプラリーは、紙を使わない環境にやさしいスタンプラリーです。QRコードを読み込んでクイズに正解し、すべてのスタンプを集めていただきますと、もちろん関西エアポートグループのオリジナルエコバッグをプレゼントいたします。

※スタンプラリーは、各空港で完結するイベントとなっております。

スタンプラリーWebサイト URL：[KIX](#)、[ITAMI](#)、[KOBE](#)



パネルイメージ

・アイドリングストップキャンペーン:

KOBE : 6 月 20 日 (水)、KIX : 6 月 21 日 (木)、ITAMI : 6 月 22 日 (金)

例年、関西エアポートグループ社員および空港内事業者が参加して共同で実施している本イベントを、今回から新たに KOBE も加え関西 3 空港で行います。



昨年のアイドリングストップキャンペーンの様子

・ごみゼロキャンペーン:

KIX・ITAMI・KOBE : 5 月 30 日 (水) ~ 6 月 13 日 (水)

関西 3 空港の空港内事業者のご協力のもと、各事業所周辺において自主的な清掃活動を行います。



昨年のごみゼロキャンペーン中の取り組みの様子

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
企画・管理部 広報・ブランディングチーム
Tel : 072-455-2201



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016 年 4 月 1 日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018 年 4 月 1 日からは関西エアポート株式会社の 100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西 3 空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北 1 番地 大阪市西区西本町一丁目 4 番 1 号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港 1 番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964 年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971 年の香港進出を皮切りに世界 38 カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、36 空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル（リスボンのハブ空港含む）、カンボジア、日本、ドミニカ共和国、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で 200 社を超える航空会社が就航し、2017 年の旅客者数は 1 億 5,660 万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1 万 2,000 人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。

2017 年の連結売上高は 14 億ユーロ、グループ全体の売上高は 32 億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

新環境5力年計画 概要

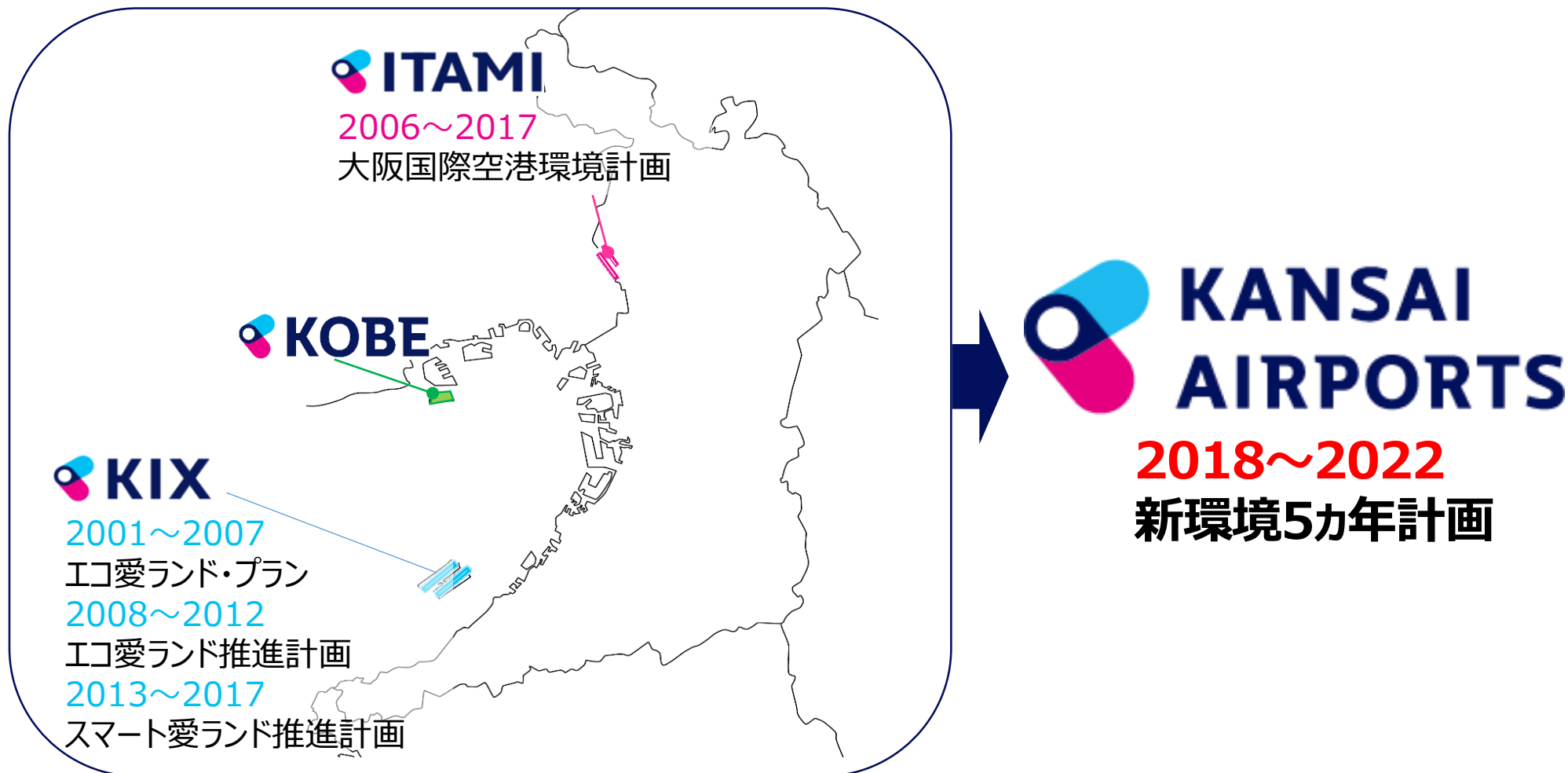


Shaping a New Journey



**KANSAI
AIRPORTS**

環境計画の変遷について



新環境5カ年計画の基本方針

方針

環境にやさしいスマートエアポートの実現

気候変動
への対応



資源循環



周辺環境
との共生



環境
マネジメント



項目

- 省エネルギーの推進
- 温室効果ガス排出抑制

- 上水使用量の削減
- 廃棄物のリサイクル

- 周辺環境の監視
- 生物多様性の保全

- 評価プログラムの活用
- 連携・教育

目標

- エネルギー使用量 5%削減
- CO₂排出量 5%削減

- 上水使用量 10%削減
- 廃棄物リサイクル率 35%

- 適切な環境監視
- 生物多様性に配慮した環境創造

- 環境認証の取得
- マネジメント体制の構築

施策

- ✓ 省エネオペレーション
- ✓ ACA維持とレベルアップ
- ✓ 脱炭素オペレーション

- ✓ 雨水・中水利活用
- ✓ 廃棄物分別回収・徹底
- ✓ リサイクル推進

- ✓ 航空機騒音の監視
- ✓ 大気質・水質保全
- ✓ 生物の環境保護

- ✓ 環境情報の発信
- ✓ 環境関連制度の活用
- ✓ 事業者・他空港連携